

## 2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 熊本市立飽田東小学校 ] 担当教諭名 [ 前田 陽子 ] ( 5年 1・2・3組 92名 )

相手国・地域 [ ソロモン諸島 ]

海外学校名 [ Burns Creek Adventist Primary School ] 担当教諭名 [ Simeon Bouro JNR / 飯盛元貴 (JICA) ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	外国語活動	「自己紹介ビデオメールを送ろう」 「お手伝いについてたずね合おう」	16
	総合的な学習の時間	水俣学習、ソロモンの友達と交流しよう	20
	図画工作	壁画を完成させよう	6

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Together, Let's think and act to protect seas and lands of our earth
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	多くの自然が残るソロモンと日本、そして两国をつなぐ美しい海。人、動物、魚、花、木などたくさんの貴い「命」が溢れています。これらを将来にわたって美しいままに守り抜くために、ソロモンと熊本と遠く離れていたとしても、互いのことを思い合いながら、ともに力を合わせていきたい！
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが今まで知らなかった国「ソロモン諸島」を身近に感じる事ができた。</li> <li>子どもたちが英語を通じたコミュニケーションの楽しさを味わうことができた。</li> <li>SDGs をテーマに世界的な視野をもって課題解決に向かう学びができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビ電話等での交流を密に行いたかったが、互いの行事や急な自然災害、学校の状況変化などで、思うようにできないことがあった。</li> <li>環境学習や平和学習および外国語活動との横断的な学びの価値を担任の先生方と深め合うための時間が不足した。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>全く知らない国のこと、その国に住む同年代の子どもたちの様子を具体的に知ることで、「もっと仲良くなりしたい！」「もっと知りたい！」「もっと英語を使って交流したい！」など、心が動く様子が見られた。</li> <li>しばらく交流していない時でも、「ソロモンの友達は どうしてるかな？」など相手のことを気にかけている子どもたちがいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の先生方にとっても、自分自身にとっても、「ソロモン諸島」という国について大変強い興味関心を抱くことができた。改めて、互いの国のつながり、歴史上の出来事など、自分ごととして考えるようになった。</li> <li>SDGs への取り組みとその意義を意識するようになった。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	「Zoom」を使用し、テレビ電話で自己紹介し合った。後日、外国語活動で慣れ親しんだ表現を活用して、学校紹介ビデオをグループごとに作成し伝えた。	テレビ電話では、相手の顔が見えた途端、これまででない喜びの笑顔が教室中に溢れた。英語による交流で「伝わるまで頑張ることが大事」「通じて嬉しい！」等の感想があった。	外国語活動 16
共有 テーマ学習	6月 ～ 9月	環境センターを見学し、水俣病で苦しんだ方々の話を聞いた。きれいな海を守ることの大切さ、どうやって守ることができるかなどさらに自分達で調べたり学びあったりした。	語り部の方から苦しみ的事实を学んだ子どもたちは、「二度と同じ過ちを繰り返してはならない！」と強く心を動かされた様子だった。	総合16
融合 メッセージ作成	8月 ～ 10月	夏休みに一人一人調べ学習と壁面のアイデアシートを作成した。何を描き入れるかの話し合いも「Zoom」によるテレビ電話でソロモンの皆さんと伝え合った。	夏休みにじっくり一人で考え、思い思いのイメージを膨らませることができたようだった。テレビ電話では、「残したい自然」がソロモンの皆さんと同じ思いだったことに喜びを実感していた。	総合3
創造 壁画制作	11月	各学級から下絵チームを募り、担当を決めてから下絵を作成した。その後、各学級で色塗りする場所を決めて、2時間ずつ手分けして色を塗り完成させた。	ソロモン側から送られた絵を見て、差し出した手が繋がっていたり、日本の国旗が描かれていたりしたことに感動し、「思いが通じた！」と大いに喜んでいた。	図工6
評価 振り返り 自己評価	2月	突然の休校措置で、じっくり振り返ることができていないが、登校日に完成した壁画を見て写真を撮ることができた。	「まだまだじっくり見たい」様子で、完成壁画を味わうことができず心残りの様子だった。6年生になって、改めて振り返らせたいと思っている。	総合1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついていた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	学校や手伝い紹介ビデオを作成する活動で、掃除の時間や給食当番など、外国にはないことを知ることでそれらの良さを実感していたから。
異文化を理解する力	4	体育の様子、校舎の様子、水汲みの手伝いなど、日本とは大きく異なることをテレビ電話交流や送られた写真などを見て驚いていたから。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	教師主導であることが多く、子どもたちにもっと主体的に学ばせたかったから。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	具体的な相手が見えることで相手意識を強くもたせることができたから。日本語が通じないからこそ、「伝わるようにするにはどうしたら良いか」試行錯誤しながら学ぼうとする姿が見られたから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	自分たちの考えや思いをじっくり振り返らせ、問い返す場を設定することができなかつたから。
主体的に考え行動する力	3	学年全体で取り組んだことで、アイデアやイメージを交流させるには人数が多いと感じた。少人数のプロジェクト活動にすべきたった。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	「壁画制作」という大きな、目に見えるゴールがあることで、そのゴールに向かうまでのプロセスで協働的に学ばせることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	他の人の思いや考えを尊重しつつ、自分の思いや考えも伝えながら一つにまとめていくことの難しさや面白さの両面を味わわせられた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	-	休校措置中に完成作品が届いたが、登校日でも鑑賞や自己評価する余裕がなかった。新年度始めに振り返る時間を取りたい。